

# つくいだより



令和6年4月19日 発行  
神奈川県立津久井支援学校  
学校だより No.1



ご入学・ご進級おめでとうございます



ご入学、ご進級おめでとうございます。桜の花が満開の中、4月5日小学部から高等部までの児童・生徒が体育館に集まり、第21回入学式及び令和6年度始業式を行いました。今年度は、中学部4名、高等部15名が入学しました。入学式では緊張しながらも一人ひとりが立派に挨拶する姿を見て、大変うれしく思いました。

今年度から、津久井支援学校に着任しました校長の星野進<sup>ほしのすすむ</sup>と申します。つくい支援学校では朝、春告鳥とも呼ばれるウグイスの美しいさえずりが私たちを迎えてくれます。この自然豊かな環境のもとで子どもたちの教育に携われることはとても素晴らしいことだと感じています。

本校は、共生社会の実現に向け、地域とともに、児童・生徒の自立と社会参加を目指して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を進めてまいります。また、児童・生徒が楽しく学べる、安心して安全な学校となるよう一所懸命取り組みます。

今年度も保護者の皆様や地域の皆様もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 星野 進



昨年に引き続き、副校長を務めます藤原英明<sup>ふじわらひであき</sup>です。昨年は修学旅行や校外宿泊に同行し、学校本来の教育活動が再開できて良かったと思います。

また、個人的には、2学期と3学期の始業式で、「津久井音頭」や「獅子舞」等、私の得意分野を披露できたことで、より皆さん一人ひとりとより身近に接することができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

津久井育ちなので、これまでの経験を生かして、安心安全な学校づくりのために力を発揮したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

副校長 藤原 英明



あおば支援学校より着任しました熊本志穂<sup>くまもとしほ</sup>です。6年前にも1年間、津久井支援に勤務しておりました。入学式・始業式では、子どもたちの立派な挨拶や成長に驚き感動しました。

津久井支援学校は県内で最も小さな特別支援学校ですが小学部から高等部まで顔が見え、子どもも大人もみんなで協力し合う「つくいらしさ」が魅力だと思います。子どもたち一人ひとりの人格を尊重し、より良い自立と社会参加をめざして、保護者、地域の皆様と連携して支援していきけるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

教頭 熊本志穂